

令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター						
指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	ー
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	6	4	2	8	0	8	0	14
	令和4年度		令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数	1		2					

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
延利用者数（人）	6,080	5,982				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	86,753,405	90,644,109	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	30,459,353	31,830,788				
	利用料金収入	55,928,389	55,043,566				
	その他収入	365,663	3,769,755				預金利息、港区介護ロボット等 導入費用補助金
	支出	95,944,746	101,738,038	0	0	0	
	職員人件費	57,368,278	60,962,734				
	光熱水費	5,844,755	5,478,867				
	修繕費	1,234,585	2,994,368				
	事業運営費	14,296,927	14,632,554				
	施設管理経費	17,019,201	17,522,015				
	その他経費	181,000	147,500				
差引収支額	-9,191,341	-11,093,929	0	0	0		
年度協定書で定める指定管理料		31,985,260	31,858,660				

5 管理運営状況に対する評価

項 目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者に声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	1 / 5	×5	5 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点					74 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	職員・利用者から新型コロナウイルスの感染者が出ましたが、感染拡大を防止し、運営を継続することができました。感染状況を鑑みながら、ボランティアや実習生の受け入れの拡大、区関係の会議への場所提供を行い、地域等との交流に努めました。居宅介護支援事業所への働きかけやサービスの質の向上に努め、新規利用者数と利用回数を増やす利用者は増加しましたが、取り下げ利用者も増加したため、施設利用者数は減少しています。今後も施設利用者数を増やすために、居宅介護支援事業所への働きかけや職員研修の継続による職員の質の向上に努めていきます。同じ館の他事業者との情報共有のための「全館会議」を継続して行っており、今後も館全体での施設管理に努め、地域の高齢者の安全・安心な「居場所」づくりに取り組んでいきます。
区（施設所管課）による評価	ボランティアや実習の受け入れ等、利用者と外部との交流の機会を積極的に作っていた点は評価できます。一方で、利用者数については、昨年と比較し若干減少しています。今後は、本社とも連携しながら、様々なイベントの実施や、職員の労働環境の改善等により、職員にとっても利用者にとっても、より魅力的な施設となるよう取り組むことを期待します。そして、複合施設としての強みを生かし、全館会議により同じ館の他事業者と連携して、地域の高齢者の安全・安心な「居場所」づくりに取り組むよう、区としても助言・指導してまいります。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価

B

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）